

一向口唱

導師 現楠
げん
なん

今年の信行指針についてお話します。

我々を含め、生きとし生けるものは皆唯一無二ゆいいつむにの存在で、ただ生きているだけで価値や意味があり、それぞれ立派りっぱなことを成し遂げている。

この気づきを得られたのは、お題目を口唱する正しいご信仰があればこそです。単純に「ただ生きる」と言うと、「自由奔放・自己中心・社会のルールに制約されず、勝手気ままに生きる」と捉とらえてしまう恐れがあります。

しかし、そうではありません。

獅子吼会の大事な教えである、

「難有なんあって有あり難がたい、と思をいを変かえる」「化他けた即そく自じ行ぎやう」「反省けんげい・感謝かんしゃ・努力なっりく」

などの教えが根本にあり、その上に「ただ生きる」があるのです。

そして、これらの気づきが得られるのは、

「南無妙法蓮華經」
なむみょうほうれんげきょう

とお題目をだいもく口唱くしょうする、ご信仰があればこそです。

そうしたことから、今年の信行指針は、

「ただ生きる 生きる源 一向口唱」
い い みなもと いっこうくしょう

と致しました。



先年亡くなられた、女性のご信者さまを紹介します。

このお方は、ある日、体調を崩し、病院に入院されました。

以来、長きにわたり入院治療を受けることになってしまいました。

その間、ご主人さまや、ごきょうだいがご逝去。

きつと、つらく苦しい気持ちで日々過ごしておられると思い、お見舞いに

お伺いしました。

病室では、ベッドに横になって休んでおられました。私の姿に気がつかれると、

「ありがとうございます。」

わざわざ病院にまでおいでいただき、申し訳ございません。

長い入院で、ご本部のお参りができなくなってしまうました。

本当に申し訳なく、ご法さま、日正にっしょうげいか猊下にお詫わびいたします。

いつの日かまた、ご本部のお参りができますよう願っております。

そのため、体力をつけようと三度の食事の時に、心の中で、

『どうかご法さま、ご本部にお参りさせてください』

と、お願いしております。

食事をいただくとき、一口ずつ、

『南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經……』

と、お題目をお唱えしております。

お陰さまで九十歳になりました。

七人きょうだい中、一番病弱で両親に心配をかけていましたが、こんなに

も長生きをさせていただけれるとは思っていませんでした。有り難いことです。

毎日、朝昼晩に、生かさせていただいている御礼と、主人と、きょうだい

たちのご回向のお参りを続けています。このご信仰にお出値でいできたからこそ、今日の我が身があるのだと本当に有り難く、感謝しています。

くれぐれも日正猊下、明代奥あきよさまに宜しくお伝えください」

と言われ、目に涙を浮かべられたのです。

さすが、長年ご信仰されているお方です。

一つ一つの言動にご信心の強さが表れていらっしやいました。

大変感銘かんめいを受けたことを、今でもはっきりと覚えています。

病に見舞われたご自身を冷静に受け止めて「反省・感謝・努力」を胸に、

信行精進しんぎょうしんじんされているお姿を紹介しました。

ただ嘆なげき悲しんでいたのでは、喜びは得られなかったはずです。

惜おしくも、先年お亡くなりになりました。

「ただ生きる」。病を得て床とこに伏ふしたとしても、自らの生を誠実に歩むことにより、他者に感銘を与えることにつながります。

「ただ生きる 生きる源 一向口唱」。

さらなる信行精進をはかり、生ききろうではありませんか。